

平成25年第3回北海道議会定例会〔一般質問〕開催状況

開催年月日 平成25年9月19日(木)

質問者 民主党・道民連合 笹田 浩 議員

答弁者 水産林務部長

質 問 要 旨	答 弁 要 旨
<p>四 水産物の流通対策について</p> <p>最後に水産物の流通対策についてお伺いをいたします。</p> <p>先般、韓国政府は、東京電力福島第一原発の汚染水漏れ問題に関連し、福島県など8県の水産物の輸入を禁止し、北海道などに対しても安全性に問題のない微量の放射性物質が検出された場合であっても追加の検査証明書を要求するという措置を発表したところであります。</p> <p>知事は、先般の我が会派の代表質問で「緊急要請を行い、水産庁から韓国政府に対し規制の解除を働きかけ、道産水産物の安全性をPRする」旨の答弁があり、16日には水産庁が韓国政府担当に撤回を要求しましたが、決着には至っていない状況であります。</p> <p>韓国に輸出されている道産水産物の主なものは、ホタテガイとスケトウダラがある訳であります。これまでの放射性物質のモニタリング検査では、ホタテガイについては、これまで、微量の放射性物質すら検出されたことはなく、また、スケトウダラについても、過去に安全性に全く問題のない超微量の数値が検出されたのみであります。</p> <p>スケトウダラは、例年、20万トン前後の水揚げがある北海道を代表する魚種であり、主にかまぼこ等の原料として地域の水産物を支える重要な水産物であります。一方で、韓国のチゲ鍋の材料として高く評価されていると聞きますが、今般の福島原発の汚染水問題で輸出の減少や国内の価格の低下が懸念をされるところであります。</p> <p>海外に向けた安全性のPRも重要と考えますが、同時に国内対策も重要であると、今回の問題で改めて考えさせられました。</p> <p>については、今後の国内におけるスケトウダラの流通加工対策についての道の取組についてお伺いをいたします。</p> <p>【指摘】</p> <p>スケトウダラの消費拡大についてですが、スケトウダラは、タラコだけではなくて、その身も大変おいしい魚であります。私の地元でも昔から漁期では、塩汁で、いわゆるサンペイ汁で、各家庭にあがります。地域により食べ方は様々とは思いますが、まだまだ、そのおいしさや知名度は全国的になっていないと感じています。加工製品の開発などで一層の消費拡大に努めるとの答弁をいただきましたが、それには大いに期待もします。しかし、鮮魚での消費拡大にも積極的に取り組むようお願い申し上げまして私の質問を終わります。</p>	<p>○ 沓澤水産林務部長</p> <p>水産物の流通対策に関し、スケトウダラの流通加工対策についてであります。スケトウダラは、国内において、かまぼこ等の原料に使用されているほか、生鮮、冷凍品として韓国や中国に輸出される重要な水産物であります。円高や原発事故により輸出が滞ったことなどから、道では国内需要の拡大を図るため、量販店や飲食店などへの鍋料理向け流通ルートの開拓や学校給食向けフライ製品の開発に取り組んできたところであります。</p> <p>この度、韓国政府の輸入規制の強化により、輸出が減少し、国内価格の低下が懸念されますことから、道といたしましては、関係団体と連携して、首都圏の学校給食向けの販路の拡大に加え、高齢者施設向け介護食品の開発や家庭向けの手軽に調理できるファストフィッシュ製品の開発など、スケトウダラの新たな加工製品の開発や一層の消費拡大に取り組んでまいります。</p> <p>以上でございます。</p>